



所 管	教育委員会事務局中央図書館		
担 当	瀬瀬	問い合わせ	0573-26-6923

報 道 機 関 各 位

恵那市中央図書館岩村分館への寄贈について

市では、旧岩村振興事務所を改修し、建物1階東側に「恵那市中央図書館岩村分館」の整備を進めています。

このたび、中央図書館（伊藤文庫）の分館として、恵那市南部地域における読書活動の普及や先人関係をはじめとする郷土資料の充実などを目的及び役割とする本施設の整備に対して、株式会社バローより、書架や家具類などの寄贈の申し出がありましたのでお知らせします。

記

1. 寄贈者 株式会社バロー（代表取締役会長 田代 正美 様／多治見市）
2. 寄贈内容 書架、テーブル、椅子、ベンチ、受付カウンターなど2,800万円相当
3. 設置日 令和7年8月27日（水曜日）～9月5日（金曜日）（予定）
4. 贈呈式 令和7年10月13日（月曜日・祝）の開館式典で、感謝状贈呈式を行います。

5. 寄贈の経緯

恵那市中央図書館～伊藤文庫～は、平成19年7月7日に、財団法人伊藤青少年育成奨学会（理事長 伊藤喜美氏（当時）、平成23年に公益財団法人へ移行）から「青少年育成に寄与し、恵那市民が親しむことのできる「知の殿堂」としての恵那市中央図書館を建設し、永きにわたって活用していただきたい」との趣意により、図書館施設と図書資料などの寄贈を受けて開館しました。

同財団は、バローホールディングス創業者である伊藤喜美初代理事長の個人資産の一部を基本財産としています。このようなつながりから本施設の整備に対しても賛同し、今回の寄贈に至りました。



市公式キャラクター
『エーナ』



恵那市役所報道発表資料

令和7年8月20日

6. 恵那市中央図書館岩村分館の概要

(1) コンセプト

本と出会い 人と出会う 歴史に学び未来を創る 学びとつながりを育む
図書館

～ほどよいさざめき、居心地のよい空間が、学びと出会いの豊かな時間を創
り出す 新しいかたちの図書館～

(2) 目的・役割

- ①郷土の先人に関連した図書や郷土資料の充実を図り市内外の利用に資する。
- ②幅広い世代に向けた読書・学びの環境を提供する。
- ③市南部の読書活動普及の拠点として、中央図書館と連携を図り市民が利用しやすい図書館として環境づくりを行う。
- ④「佐藤一斎学びのひろば」、「恵那市新歴史資料館（仮称）」との連携により「まなぶ」施設として市民の自主的な学びを支援する。

(3) 特徴

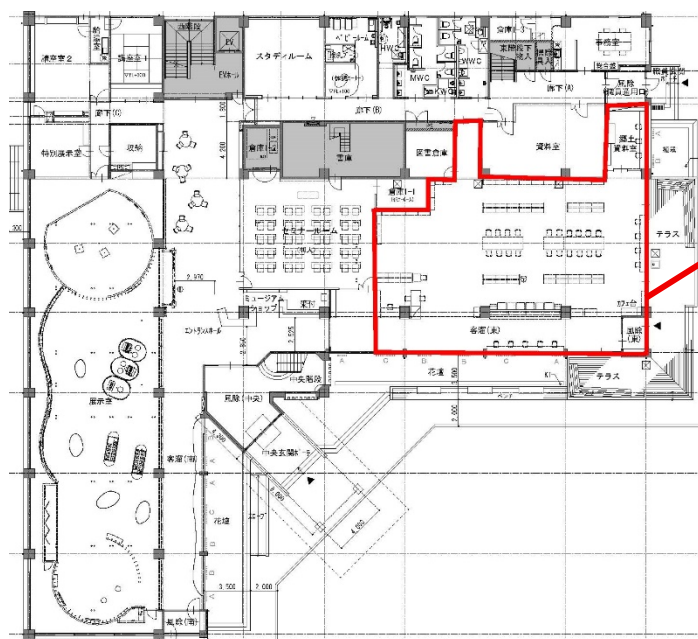
- ①郷土資料室を設け、郷土資料等による学習・研究の場とする。郷土に関する展示を行う。
- ②中央スペースの閲覧席、窓際に面したカウンター席、ソファ席、静かな環境の席等多様な閲覧席を配置し、利用者各々にあった快適な読書環境を提供する。
- ③従来の静かな図書館から交流の図書館へ。学びあい、教えあいなど、話し声のする図書館とする。
- ④カフェマシーンを設置し、コーヒーの香りがする読書空間を提供する。飲食可能エリアを設け、幅広い利用に対応する。
- ⑤共用施設としてスタディールーム、テラス席、授乳室を設け、学習支援、子育て支援の充実を図る。

(4) 開館に向けた準備

令和7年8月末 岩村コミュニティセンター図書室での閲覧・貸出終了
予約図書の受け取り、中央図書館図書の返却は可能
令和7年9月 蔵書の移動・配架、新規購入図書の配架

(5) 開館日 令和7年10月13日（月曜日・祝）

(6) レイアウト



恵那市中央図書館
岩村分館エリア

(7) 館内イメージ

